

2019（平成31／令和元）年度

# 事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター



## 概 要

「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催を翌年に控えた2019年度は、5月の元号改正、9月～10月の超大型台風の襲来、10月の消費税増税、年明けからの新型コロナウイルスの感染拡大等、本センターの運営に大きな影響を及ぼすような出来事が相次いだ。

まず、一般営業に関しては、会場整備工事が本格化し、GW以降は、競技会場となる伊豆ベロドローム及び伊豆MTBコースに隣接した「おもしろ自転車エリア」や「5キロサーキットエリア」が使用できない状況となったため、組織委員会とも調整のうえ、「ファミリーサーキットエリア」に限定した営業を行った。その後、同エリアについても、台風の被害が及び、営業の継続が困難な状態になったことから、10月中旬以降は、園外にあるパターゴルフコースのみの営業を余儀なくされた。

次に、オリンピック・パラリンピックの受入れに関しては、組織委員会と、会場使用協定に基づく各種附属書や、大会時に受注が見込まれる飲食・宿泊提供サービス業務等に関する協議・調整を行ったほか、10月に開催されたMTB競技のテストイベントについても、様々な協力に応じた。一方、新型コロナウイルスの感染拡大により懸念されていた本大会の開催は、年度末に、1年の延期が決定され、2021年夏に開催することとなった。

この他、長年に亘り懸案事項となっていた職員の退職金支給規程に関しては、職員組合との交渉の結果、改正の合意に至り、平成31年4月1日に遡って施行することとした。また、台風19号による大雨の影響で崩落した法面についても、一部地元行政の協力を仰ぐなど復旧の段取りを行った。

本年度に実施した主要な施策は、次のとおりである。

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技開催に向けた関係機関との連携（会場整備、機運醸成ほか）
- 場内施設設備並びに環境の健全維持
- 料金改正の検討（合宿所サイテルについては2019年10月改正実施済み）
- 再オープンに向けての諸施策の検討（職員配置計画、施設リニューアル計画、イベント及PR計画ほか）
- 合宿所サイテル及び伊豆ベロドロームの補修整備
- 職員退職金支給規程の改正
- 台風災害への対応

なお、事業の実施に際し、自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業、競輪・オートレースの補助事業により建築整備された施設の補修事業、自転車競技場を中心とした自転車の普及促進のための総合的な施設の補修事業、自転車競技の競技運営力向上に資する装置・機器に関する調査研究事業については、公益財団法人JKAから公益事業振興資金並びに機械振興資金の補助を受けた。

## 1. サイクルスポート施設の運営等に関する事業

### (1) 各種施設の提供

会場整備工事等に伴い、自転車競技施設、屋内スポーツ施設及び野外活動施設の一般営業は、次のとおりであった。

#### [自転車競技施設]

5キロサーキット 4月 1日～ 5月 6日 営業  
※大会・合宿は6月30日まで受入れ

MTBコース 通年営業休止

伊豆ベロドローム 通年営業休止

#### [屋内スポーツ施設]

体育館 4月 1日～ 5月 6日 卓球ルームのみ営業

室内フットサル場 4月 1日～10月14日 営業

#### [野外活動施設]

DAYキャンプ場 4月 1日～ 6月30日 営業

このほか、宿泊施設のサitelについては、営業を継続するとともに、リニューアル計画の2年目として、老朽化の著しい3階客室の補修、客室空調設備の補修、男女浴室脱衣所の補修並びに排水管の補修等の整備を施し、自転車競技を始めとする各種スポーツ合宿者がストレスなく快適に宿泊できるよう、施設・設備の機能回復とイメージアップに努めた。

### (2) その他の事業

組織委員会を始めとする関係機関とも調整を図りつつ、ナショナルチーム等へ自転車競技施設及びトレーニング施設を貸与したほか、全国各地で開催される自転車競技大会の主催者からの要請に応じ、計測業務の受託や計測機材の貸出しを行った。

### (3) 入場者

サイクルスポーツ施設及び付帯する施設等を提供することにより、自転車愛好者の利用促進に努めた。

なお、本年は会場整備工事や台風災害の影響を受け、次のとおり、例年とは全く異なる営業形態となった。

[ 4月 1日～ 5月 6日] 通常営業

営業内容 : 前年度末から一般営業を休止しているMTBコース、伊豆ベロドローム、STRIDER Parkを除く全施設を提供

営業日数 : 34日(うち雨天日数9日)

有料入場者数 : 27,719人(815人/日)

総入場者数 : 28,612人(842人/日)

[ 5月11日～10月14日] エリア限定営業(ファミリーサーキットエリア)

営業内容 : ファミリーサーキット等一般営業7施設、ウォーターバルーン等イベント営業4施設並びにパターゴルフコース等園外営業3施設を提供

営業日数 : 136日 (うち雨天日数37日)

有料入場者数 : 19,682人 (145人/日)

総入場者数 : 28,310人 (208人/日)

[10月15日～ 3月31日] パターゴルフコースのみの営業

営業内容 : パターゴルフコースのみを提供

営業日数 : 136日 (うち雨天日数33日)

有料入場者数 : 1,590人 (12人/日)

総入場者数 : 2,779人 (20人/日)

なお、詳細は、(別表1-1) 月別入場者、(別表1-2) 入場者内訳及び(別表1-3) 施設利用者内訳のとおりである。

## 2. 自転車競技並びにサイクルスポーツの普及奨励

### (1) アジアサイクリングセンター (CCC修善寺) の運営

#### ア. 国内トレーニングキャンプ

国際自転車競技連合(UCI)が提唱するワールドサイクリングセンター(WCC)構想のもと、日本を含むアジア各国の自転車競技連盟から推薦を受けた将来有望なトラック競技者や指導者をCCC修善寺に集め、伊豆ベロドロームや400メートルピスト等の施設を活用して基礎的な訓練研修を行うとともに、同年代の各国若手アスリートと競わせることによりメンタル面の向上を図るなど、今後世界で活躍するための貴重な機会を創設した。

本年度の開催内容は以下のとおりであるが、第1回目には、常連国に加えて、国内キャンプは初となるマカオチャイナ(ロード競技選手)や、12年振り2回目となるフィリピン(MTB競技選手)の参加があった。

#### [第1回国内トレーニングキャンプ]

開催期間 : 5月28日～ 6月10日 <14日間>

参加者 : 6カ国-21名 (選手17名、コーチ4名)

フィリピン 5名 (選手3名、コーチ2名)

タイ王国 4名 (選手4名)

チャイニーズタイペイ 4名 (選手3名、コーチ1名)

日本 3名 (選手3名)

マカオチャイナ 3名 (選手2名、コーチ1名)

香港チャイナ 2名 (選手2名)

#### [第2回国内トレーニングキャンプ]

開催期間 : 10月29日～ 11月11日 <14日間>

参加者 : 3カ国-11名 (選手10名、コーチ1名)

チャイニーズタイペイ 6名 (選手5名、コーチ1名)

タイ王国 3名 (選手3名)

日本 2名 (選手2名)

#### イ. 海外トレーニングキャンプ

アジア自転車競技連合（ACC）の協力を得て、資金面で来日が困難なアジア各国への便宜を図るため、CCC修善寺のコーチングスタッフ2名を地理的にも治安的にも環境に優れたタイ王国へ派遣し、自転車競技者及び指導者を対象にしたトレーニングキャンプを実施し、競技普及のアプローチを行った。

本年度の開催内容は以下のとおりであるが、UCIからの助成金を活用し、渡航費や滞在費の調達が困難な国々への支援制度を設けた結果、キャンプ初参加となるラオスを始め、カンボジア、ミャンマーからの応募があった。

開催期間： 9月24日～10月 3日 <10日間>

開催場所：タイ王国・バンコク フアマーク自転車競技場

参加者：6ヵ国－18名（選手11名、コーチ7名）

タイ王国	8名（選手5名、コーチ3名）
チャイニーズタイペイ	3名（選手2名、コーチ1名）
ミャンマー	3名（選手2名、コーチ1名）
香港チャイナ	2名（選手2名）
カンボジア	1名（コーチ1名）
ラオス	1名（コーチ1名）

#### ウ. PR・招致活動

海外トレーニングキャンプ終了後、同国のスパンブリで開催された「UCIトラックアジアカップ2019タイラウンド」において、海外トレーニングキャンプに参加できなかった諸国に対しても、CCC修善寺のPRを行い、国内キャンプへの招致に努めた。

活動期間：10月 4日～10月 6日 <3日間>

活動場所：タイ王国・スパンブリ県 スパンブリ自転車競技場

派遣スタッフ：2名

#### エ. ガールズキャンプへの協力

公益財団法人JKA及び公益財団法人日本自転車競技連盟が主催する「ガールズサマーキャンプ」並びに公益財団法人JKAが主催する「ガールズサテライトキャンプ」に指導協力を行った。

協力内容は、次のとおりである。

[2019ガールズサマーキャンプ]

(第1ターム)

開催期間：8月3日～8月6日

開催場所：CSC400メートルピスト

参加者：17名（トラック競技未経験者）

指導スタッフ：4名

(第2ターム)

開催期間：8月7日～8月10日

開催場所：CSC400メートルピスト

参加者：15名（トラック競技初心者及び経験者）

指導スタッフ：4名

[ガールズサテライトキャンプ2019]

開催期間：11月22日～11月24日

開催場所：いわき平競輪場

参加者：11名（トラック競技経験未経験者及び初心者等）

指導スタッフ：2名

## (2) 自転車競技大会及び合宿の開催と受入れ

### ア. 自転車競技大会

本年度は、オリンピック・パラリンピックの会場整備工事に伴い、伊豆ペロドローム・5キロサーキットを始め、自転車競技大会の会場となる施設の使用が大幅に制限されたため、例年と比べ件数は大幅に減少したものの、組織委員会とも調整のうえ、4月から6月にかけて、チャレンジサイクルロードレース大会、ツアー・オブ・ジャパン伊豆ステージ、東海高等学校総合体育大会自転車競技大会（ロード競技、トラック競技）等、他団体が主催する自転車競技大会の受入れを行った。

また、10月には2020年東京オリンピックMTB競技のテストイベントとなる組織委員会主催の「READY STEADY TOKYO—CYCLING (MOUNTAIN BIKE)」が、新たに造成されて伊豆MTBコースにおいて開催された。

[主催大会]

該当なし（前年度：12件1,447名）

[他団体の大会]

開催件数：12件（前年度45件）

参加者：1,891名（前年度8,389名）

なお、詳細は、(別表2) 自転車競技大会一覧のとおりである。

### イ. 自転車競技合宿

自転車競技合宿についても、大会と同様の理由で大幅に減少し、大学や高等学校の自転車競技部等、延べ42件649名（前年度239件2,509名）の受入れに止まった。

なお、オリンピック及びパラリンピックのナショナルチームのトレーニングに関しては、組織委員会と調整のうえ、最大限の受入れ体制を整えた。

## (3) 伊豆サイクルスポーツクラブの運営

本センターの施設・設備とスタッフを活用して、伊豆サイクルスポーツクラブ（トラック競技）の運営を行った。

同クラブは、性別、年齢、目的及び自転車競技経験の有無を問わず、トップ競技者を目指す者のほか、キッズクラスからマスターズ世代に至るまで幅広い層を対象にするもので、本年度は会場整備工事を考慮して12月まで、毎月4回の練習を計画し、以後可能な限り練習を継続する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため

2月下旬以降は活動を自粛することとした。

なお、当クラブからは、現在のナショナルチームメンバーに加え、ワールドカップでのメダリストも輩出している。

[会 員 数]

平成30年度末：57名（トラック競技）

令和元年12月末：48名（トラック競技）

(4) 自転車スクールの開催

自転車愛好者の底辺拡大を図るため、自転車に乗れない女性を対象にした1泊2日の乗り方教室を3回、小学生を対象にした日帰りの乗り方教室を3回開催した。

なお、詳細は、(別表3) 自転車スクール及び競技指導内容一覧のとおりである。

(5) 自転車競技者に対する指導業務

地元静岡県自転車競技連盟からの要請を受け、ジュニア世代の育成、国体に出場する静岡県代表選手及び女性ジュニアアスリートの強化に特化したトレーニングプログラムによる指導のほか、公認コーチ（自転車競技）養成講習会における指導を行った。

なお、詳細は、(別表3) 自転車スクール及び競技指導内容一覧のとおりである。

(6) 自転車普及イベントの開催

6月には、16回目となる「CSC3時間耐久一輪車レース大会」を静岡県一輪車連盟と共催し、一輪車の魅力を発信するとともにサイクルスポーツの普及に努めた。

なお、詳細は、(別表4) イベント開催内容一覧のとおりである。

(7) 自転車競技の地域普及啓発活動

静岡県立伊豆総合高等学校の体育科目選択授業の場として400メートルピストを提供し、トラック競技の技術指導に関する協力を行った。

また、三島市が主催する「みしまジュニアスポーツアカデミー事業」に関しては、第4期生（2019年3月～4月）及び第5期生（2020年3月～4月）に対する自転車競技の指導業務を受託したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施できたのは第4期生分のみで、第5期生分は延期となった。

このほか、伊豆市が主催する「小学生のための自転車教室」や「ランニングバイク出前教室」に本センター職員を派遣し、指導協力を行うとともに、自転車競技と触れ合う機会を設け、伊豆地域における自転車競技の普及啓発とオリンピック・パラリンピックの機運醸成に努めた。

なお、詳細は、(別表5) 自転車競技体験プログラム一覧のとおりである。

(8) ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点の機能強化

オリンピック・パラリンピック競技におけるNTC自転車競技強化拠点施設として、スポーツ庁との委託契約に基づき、ナショナルチームの強化やジュニア競技者の計画的な育成を行うための施設の専有利用及びトレーニング施設の競技環境の向上並びに情報ネットワークの構築等、競技力向上のための各種サポートや機能強化事業を行った。なお、本事業の実施にあたっては、スポーツ庁からの指導に基づき、医科学の協力及び地域振興の観点から、JKA（日本競輪選手養成所）や地元行政の静岡県、伊



豆市ともコンソーシアムを形成して対応した。

その結果、オリンピック競技のナショナルチームにおいては、昨年に引き続きワールドカップ並びに世界選手権で複数のメダルを獲得し、パラリンピック競技のナショナルチームにおいても同様に、アジアトラック選手権やロード世界選手権等で複数のメダルを獲得するなど、トレーニングの成果が顕在化している。

### 3. サイクルスポーツに必要な自転車等に関する研究

#### (1) 各種自転車に関する調査研究

サイクリングコースの一般営業期間については、レンタサイクルとして配備した各種市販自転車の利用後の評価に関してアンケート調査を行うとともに、日常の自転車利用の機会や目的等についてもデータを収集した。また、自転車の故障や発生した事故に関するデータを収集・分析し、安全対策の一助とした。

#### (2) 自転車競技の競技運営力向上に資する装置・機器の開発に関する調査研究

##### ア. 伊豆ベロドロームの照明設備に関する調査研究

国際自転車競技場として、最適な照明環境の実現を目指し、平均1,400ルクスの照度を確保したうえで、視認性（グレア低減・ちらつき抑制）並びに色再現性（色温度・演色性）の向上を図るための機器選定や配置等に関する研究を行った。また、3Dシミュレーション（VR）によって自転車トラック競技空間の照明環境を確認できるシステムを構築した。

##### イ. 伊豆ベロドロームの音響設備に関する調査研究

音響施設としての建築構造を持たない室内自転車競技場において、電気音響設備面での環境改善を図り、残響時間及び明瞭度を向上させるための機器選定や配置等に関する研究を行った。その結果、85デシベルの音圧と平均で0.42、観客席で0.6のSTI値（明瞭度）が確保されることが確認された。

##### ウ. 走行速度等表示システムの開発に関する調査研究

室内自転車競技場における選手の強化育成、大会運営の合理化、観客へのサービス向上を図るため、走行タイム・大会演出のための映像情報をプロジェクターで走路面へ表示するシステム、目標記録や世界記録等をLEDライトで表示するシステム、走行分析・判定支援に有効な走行映像を記録・再生するシステムを試作し、実用化に向けて検証を行った。

##### エ. 競技運営力向上に関する施策の調査

自転車競技場における照明設備・音響設備・映像表示システム等の情報を収集するため、自転車競技先進国であるドイツのベルリンベロドロームに出向き、視察と導入システムに関する聞き取りなど最新事例の調査等を行った。

### 4. サイクルスポーツ施設に付帯する施設等の運営に関する事業

#### (1) 各種施設の提供

会場整備工事等に伴い、自転車関連施設及び遊戯的施設の一般営業は、次のとおりで

あった。

[おもしろ自転車エリア]

流水プール

期間営業休止

サイクルコースター・スカイローラー・おもしろ自転車・サイクルゴーランド・  
ジャングルジムFUJISAN 4月 1日～ 5月 6日 営業

[ファミリーサーキットエリア]

アスレチック迷路

4月 1日～ 9月 8日 営業

サイクルUFO・ファミリーサーキット・水上自転車・サイクルモノレール・  
ふわふわドーム・キッズアイランド 4月 1日～10月14日 営業

[その他]

STRIDER Park

通年営業休止

パターゴルフコース

4月 1日～ 3月31日 営業

自転車競技施設、屋内スポーツ施設を含め、2019年度は、前年度から休業中である一部施設を除き、①GWまで（4月1日～5月6日）は通常営業、②GW後から台風被害を受ける（5月11日～10月14日）まではファミリーサーキットエリアのみのエリア限定営業、そして、③台風被災後（10月15日～3月31日）は場外に位置するパターゴルフコースのみの営業を行った。

(2) その他の事業

例年、GW・夏季・秋季・正月・春季の各シーズンに開催している誘客イベント「サイクルカーニバル」については、営業体制との関りからGWのキャラクターショーと夏季のサービスイベントに止めた。

また、5キロサーキットを活用した商業撮影やモーターイベント等、施設の貸与事業については、会場整備工事との関係で、受入れを休止した。

なお、詳細は、(別表4) イベント開催内容一覧のとおりである。

5. 飲食等付随するサービス事業

GWまでの期間については、レストラン富士見を始め、場内各エリアの軽食コーナーにおいて、来場者へ食事、飲み物等を提供した。続く、ファミリーサーキット限定営業時には、エルポートを拠点に、夏季には臨時売店なども出店し、売上げ増進に努めた。

また、一般営業休止期間においても、会場整備工事に携わる作業員の昼食弁当を受注するなどして、人材や設備の活用を図った。

この他、オリンピック・パラリンピック競技大会開催期間中における飲食サービスの受注を図るべく、組織委員会と諸条件についての協議・調整を行った。

6. 広報及び誘致活動

本年度はイレギュラーの営業であったため、テレビ・新聞・チラシや、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」等のインターネット広告でGW及び夏季のイベント告知を行ったものの、夏以降はホームページ上での情報提供に止めた。

パブリシティに関しては、オリンピック・自転車競技関連でテレビ5局12回、新聞4紙19回取り上げられたほか、本センターの施設・イベント関連でも様々な媒体で紹介いただいた。

この他、上半期を中心に、首都圏の旅行代理店・公官庁・大手企業・学校等を訪問し、施設の休業案内や、合宿所サイテルへの送客依頼を行った。

なお、詳細は、(別表6) 広報宣伝活動内容一覧及び(別表7) 販売促進活動内容一覧のとおりである。

#### 7. 2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技開催に向けた関係機関との連携(会場整備、機運醸成ほか)

会場整備に関しては、トラック競技の会場となる「伊豆ベロドローム」、MTB競技の会場となる「伊豆MTBコース」並びに会場周辺エリアの整備が、GW後から本格的に始まり、年度末にはその大半が完成するに至った。なお、整備工事のうち、伊豆自転車競技会場整備工事Ⅰ(伊豆ベロドローム他)、伊豆自転車競技会場整備工事Ⅱ(伊豆MTBコース)、伊豆自転車競技会場整備工事Ⅲ(仮設建築物)、伊豆自転車競技会場整備工事Ⅳ(既存建築物解体)については組織委員会が担当し、伊豆ベロドロームの照明設備改修整備、伊豆ベロドロームの音響設備改修整備、伊豆ベロドロームのエレベーター設置整備については本センターが担当した。

また、組織委員会と、会場使用協定に基づく損失補償金の振込み、各種附属書の締結、大会時に受注が見込まれる飲食・宿泊提供サービス業務等について協議・調整を図ったほか、静岡県を始めとする地元諸団体と、レガシー施設の活用について検討を行った。

この他、静岡県や伊豆市が企画した各種機運醸成イベントや、組織委員会が行うMTB競技のテストイベント「READY STEADY TOKYO-CYCLING (MOUNTAIN BIKE)」の開催に協力した。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大により懸念されていた2020大会の開催に関しては、年度末の3月24日に、組織委員会とIOCとの間で1年以内の延期が合意され、3月30日に、新日程(オリンピック競技大会:2021年7月23日~8月8日、パラリンピック競技大会:2021年8月24日~9月5日)が発表された。

#### 8. 場内施設設備並びに環境の健全維持

施設の営業期間中は、職員による始業・終業点検に加え、専門業者による定期的な保守点検や補修整備を実施して、施設設備の性能と安全性の維持に努めた。

また、会場整備工事に伴う施設の休業後についても、再オープンを見据え、遊戯機械施設を週2回定期運転するとともに、専門業者による保守点検を継続しているほか、おもしろ自転車を始め、レンタサイクル用自転車の分解整備等も行った。

この他、柵や支柱の塗装、通路・広場脇の草刈り・倉庫の備品整理などを行い、環境の健全維持に尽力している。

なお、サイクルコースター、サイクルゴーランド、サイクルUFO、サイクルモノレー

ルの4施設については、建築基準法の規定に基づき、静岡県へ建築設備等休止届を提出済みである。

## 9. 料金改正の検討

合宿所サイテルについては、施設の改修整備と消費税の増税を契機として、宿泊料金の見直し・改正を行い、10月から新料金制度を施行した。

また、20年以上に亘り見送ってきた本センターの入場料金システムについては、料金改正プロジェクトチームを編成し、オリンピック・パラリンピック終了後の再オープンに向け、様々な調査並びに検討を進めてきたが、施設リニューアル計画等も踏まえ、今後、最終的な取り纏めを行っていく。

## 10. 再オープンに向けての諸施策の検討

### (1) 職員配置計画

入場者の動向や本センターの財政状況を踏まえ、コンパクトで機能的な組織を実現するため、様々な研究やシミュレーションを行った。しかし、再オープン時の営業施設数等未確定な事項も多いことから、引き続き、少数精鋭の組織を検討していく。

### (2) 施設リニューアル計画

伊豆MTBコースとともに、再オープン時の目玉となるような新規施設の導入を図るため、施設リニューアルプロジェクトチームを編成し、情報の収集並びに話題の人気施設を有するXtrem Aventures HAKUBA TSUGAIKE WOW、ふなばしアンデルセン公園、さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト等の視察を行ったうえで、導入候補施設を選定し、設置場所及び経費等詳細について製造業者との交渉を開始した。

また、経年による老朽化が著しく、目新しさにも欠ける施設については、リニューアルを図ると共に、採算性が合わない施設や運営継続に耐えがたい施設については、廃止等を含め将来的な方向性も併せて検討を進めている。

### (3) イベント及びPR計画

オリンピック・パラリンピックの受入れに伴い、本センターは長期に及ぶ休業を余儀なくされることから、再オープンに向けて、話題性の高いイベントや、静岡県内及び首都圏を対象とした大規模な広告宣伝に関する検討を開始した。

なお、今後については、広告代理店等専門家の力も借りながら、具体的な計画を策定して行く。

## 11. その他

### (1) 退職金支給規程の改正

平成27年3月から職員組合と協議を重ねてきた職員の退職金支給規程の改正については、令和元年11月22日付で合意に至り、同年4月1日に遡及して施行することとなった。

なお、新規規程は、在職ポイントによる退職金算定方式を採用したもので、結果として

支給水準の大幅な抑制を図るものである。

## (2) 台風災害への対応

10月に襲来した台風19号による大雨の影響で、場内4ヵ所の斜面が崩落するなど本センターも甚大な被害を受けた。

これら災害への対応について、静岡県や伊豆市等とも協議の結果、400メートルピスト倉庫裏側法面及び5キロサーキット2号橋手前法面等は本センターが復旧工事を担当、伊豆市道沿いの管理棟通用門横法面は伊豆市が復旧工事を担当、登坂走路スタート地点先法面は今後対応を検討していくことで合意に至り、本センターが担当する箇所については、請負業者を選定し、年度内に契約を締結した。

## (3) 地域行政との連携

### ア. 伊豆市事業への協力

“伊豆をサイクルスポーツ・サイクルレジャーのメッカに！”を合言葉に、伊豆市と自転車関係団体とが「自転車と伊豆」推進協議会を組織し、5月に「ツアー・オブ・ジャパン 伊豆ステージ」並びに「サイクルフェスティバル伊豆」を開催した。

また、前述のとおり、伊豆市が主催する、こども園等の園児を対象にした「ストライダー出前教室」を始め、地元市民の機運醸成のための自転車普及イベントへの協力も行った。

### イ. 静岡県事業への協力

静岡県が主催する「東京オリンピック・パラリンピック自転車競技静岡県開催推進委員会」並びに「静岡県サイクルスポーツの聖地創造会議」等へ参画したほか、地域経済の発展を目的に、地元企業と行政とが組織する「静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会（通称：E-spo）」のメンバーとしても、スポーツと宿泊・観光を組み合わせた新しいサービスや商品の開発等に関する検討に加わった。

また、静岡県主導のもと官民が連携し、サイクリストの憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”の実現を目指し、オリンピック・パラリンピックのレガシー創出に向けた検討を行った。

## (4) 職員研修及び各種資格取得の奨励・支援

職員研修の一環として、オリンピック・パラリンピックの受入れに向け、職員に伊豆市交流協会が主催する「英語及び中国語講座」を受講させたほか、最新のトレーニング理論を習得させため、担当職員が「拳上速度を指標とした負荷トレーニング（VBT）及び高強度インターバルトレーニング（HIIT）に関するセミナー」を受講するなど職員の資質向上に努めた。

なお、その詳細は、(別表9) 職員研修内容一覧のとおりである。

## (5) その他

理事会・評議員会を始めとする諸会議の開催、OA機器のシステム管理、車両の運行管理、地震・消防総合訓練などの業務を必要に応じて行った。

なお、その詳細は、(別表8) 諸会議開催内容一覧及び(別表9) 職員研修内容一覧のとおりである。

(別表1-1) 2019(平成31/令和元)年度 月別入場者

[単位:人]

区 分	平成30年度					2019(平成31/令和元)年度					一般有料入場者 増減	
	総入場者	割合	一般有料入場者	割合	営業日数	総入場者	割合	一般有料入場者	割合	営業日数	人 数	前年比
4 月	16,747	11.1%	15,657	12.2%	27日	11,894	19.9%	11,244	22.9%	27日	△ 4,413	71.8%
5 月	21,379	14.2%	17,942	14.0%	27日	21,815	36.5%	18,863	38.5%	24日	921	105.1%
6 月	6,160	4.1%	4,580	3.6%	22日	3,664	6.1%	2,148	4.4%	26日	△ 2,432	46.9%
7 月	11,533	7.7%	7,457	5.8%	28日	5,160	8.7%	3,234	6.6%	28日	△ 4,223	43.4%
8 月	30,025	20.0%	25,792	20.1%	31日	10,041	16.8%	8,022	16.4%	31日	△ 17,770	31.1%
9 月	7,872	5.2%	6,535	5.1%	26日	4,236	7.1%	3,778	7.7%	26日	△ 2,757	57.8%
10 月	10,455	7.0%	9,008	7.0%	27日	299	0.5%	237	0.5%	20日	△ 8,771	2.6%
11 月	8,538	5.7%	7,459	5.8%	25日	331	0.6%	180	0.4%	26日	△ 7,279	2.4%
12 月	8,127	5.4%	7,218	5.7%	24日	526	0.9%	351	0.7%	23日	△ 6,867	4.9%
1 月	9,415	6.3%	8,666	6.8%	27日	574	1.0%	294	0.6%	26日	△ 8,372	3.4%
2 月	5,286	3.5%	4,460	3.5%	20日	561	0.9%	272	0.6%	21日	△ 4,188	6.1%
3 月	14,732	9.8%	13,362	10.4%	29日	600	1.0%	368	0.7%	27日	△ 12,994	2.8%
合 計	150,269	100.0%	128,136	100.0%	313日	59,701	100.0%	48,991	100.0%	305日	△ 79,145	38.2%

※2019(平成31/令和元)年度

- ・ オリンピック・パラリンピック競技大会会場整備工事のため、5月11日から営業エリアを縮小する。(5月7～10日準備のため休止)
- ・ 台風19号による被害のため、10月15日からパターゴルフコースを除き全施設の営業を休止する。

(別表1-2) 2019(平成31/令和元)年度 入場者内訳

[単位:人]

区 分			平成30年度		2019(平成31/令和元)年度		増 減		
			人 数	割 合	人 数	割 合	人 数	前年比	
有 料 入 場 者	入 場 券	個 人	おとな	14,893	11.6%	959	2.0%	△ 13,934	6.4%
			こども	3,626	2.8%	253	0.5%	△ 3,373	7.0%
		団 体	おとな	26,220	20.5%	7,668	15.6%	△ 18,552	29.2%
			こども	6,196	4.9%	2,051	4.2%	△ 4,145	33.1%
		計			50,935	39.8%	10,931	22.3%	△ 40,004
	とく とく パ ス	個 人	おとな	4,744	3.7%	341	0.7%	△ 4,403	7.2%
			こども	4,195	3.3%	326	0.7%	△ 3,869	7.8%
		団 体	おとな	24,442	19.1%	7,714	15.7%	△ 16,728	31.6%
			こども	21,101	16.4%	6,504	13.3%	△ 14,597	30.8%
		計			54,482	42.5%	14,885	30.4%	△ 39,597
セ ッ ト 券	こども会	おとな	6	0.0%	0	0.0%	△ 6	0.0%	
		こども	20	0.0%	0	0.0%	△ 20	0.0%	
	ス ク ー ル	おとな	1,190	0.9%	61	0.1%	△ 1,129	5.1%	
		こども	262	0.2%	46	0.1%	△ 216	17.6%	
	特 別	おとな	3,171	2.5%	45	0.1%	△ 3,126	1.4%	
		こども	1,796	1.4%	24	0.0%	△ 1,772	1.3%	
	身 障 者		69	0.1%	26	0.1%	△ 43	37.7%	
	計			6,514	5.1%	202	0.4%	△ 6,312	3.1%
	大会・合宿等			12,597	9.8%	2,442	5.0%	△ 10,155	19.4%
	パターゴルフコース利用者			3,608	2.8%	3,266	6.7%	△ 342	90.5%
エリア限定営業利用者			—	—	17,265	35.2%	17,265	—	
一般有料入場者計			128,136	100.0%	48,991	100.0%	△ 79,145	38.2%	
その他有料入場者			14,024	9.9%	7,724	13.6%	△ 6,300	55.1%	
有料入場者合計			142,160	100.0%	56,715	100.0%	△ 85,445	39.9%	
無 料 入 場 者			8,109	5.4%	2,986	5.0%	△ 5,123	36.8%	
入 場 者 総 合 計			150,269	100.0%	59,701	100.0%	△ 90,568	39.7%	
営 業 日 数 (日)			313		305		△ 8	97.4%	
営業日における雨天日数(日)			68	21.7%	79	25.9%	11	116.2%	

(別表 1-3) 2019(平成31/令和元)年度 施設利用者内訳

区 分	平成30年度		2019(平成31/令和元)年度		増 減	
	人 数	利用率	人 数	利用率	人 数	前年比
5キロサーキット	11,042	7.4%	2,738	4.6%	△ 8,304	24.8%
ファミリーサーキット	59,944	39.9%	26,956	45.1%	△ 32,988	45.0%
MTBコース	6,051	4.0%	—	0.0%	△ 6,051	0.0%
STRIDER Park	126	0.1%	—	0.0%	△ 126	0.0%
伊豆ベロドローム	19	0.0%	—	0.0%	△ 19	0.0%
サイクルコースター	89,723	59.7%	15,196	25.5%	△ 74,527	16.9%
おもしろ自転車	94,707	63.0%	19,720	33.0%	△ 74,987	20.8%
サイクルゴーランド	56,670	37.7%	15,386	25.8%	△ 41,284	27.2%
サイクルUFO	49,178	32.7%	15,188	25.4%	△ 33,990	30.9%
サイクルモノレール	49,415	32.9%	18,499	31.0%	△ 30,916	37.4%
水上自転車	46,720	31.1%	17,963	30.1%	△ 28,757	38.4%
流水プール	9,734	6.5%	—	0.0%	△ 9,734	0.0%
体育館(卓球ルーム)	3,046	2.0%	940	1.6%	△ 2,106	30.9%
スカイローラー	86,378	57.5%	21,647	36.3%	△ 64,731	25.1%
アスレチック迷路 キャッスルアドベンチャー	37,781	25.1%	19,305	32.3%	△ 18,476	51.1%
室内フットサル場	7,182	4.8%	4,264	7.1%	△ 2,918	59.4%
ウエイトトレーニング場	52	0.0%	31	0.1%	△ 21	59.6%
パターゴルフコース	4,676	3.1%	3,696	6.2%	△ 980	79.0%
コイン施設	81	0.1%	—	—	△ 81	0.0%
バッテリーカー	3,734	2.5%	2,157	3.6%	△ 1,577	57.8%
DAYキャンプ場 元気の森	2,461	1.6%	0	0.0%	△ 2,461	0.0%
ウォーターバルーン	2,870	1.9%	2,253	3.8%	△ 617	78.5%
ふわふわドーム	19,279	12.8%	9,305	15.6%	△ 9,974	48.3%
ジャングルジム FUJISAN	32,402	21.6%	8,861	14.8%	△ 23,541	27.3%
合 計	673,271	448.0%	204,105	341.9%	△ 469,166	30.3%

- ・コイン施設は、平成30年6月30日をもって廃止
- ・流水プールは、平成30年7月14日から8月31日まで営業
- ・オリンピック・パラリンピック競技会場整備工事のため下記施設を営業休止  
(平成31年1月3日から)  
伊豆ベロドローム  
(平成31年3月4日から)  
MTBコース、STRIDER Park  
(令和元年5月7日から)  
5キロサーキット、サイクルコースター、おもしろ自転車、サイクルゴーランド、流水プール、体育館(球技ルーム)  
スカイローラー、ジャングルジムFUJISAN  
(令和元年7月1日から)  
DAYキャンプ場
- ・アスレチック迷路キャッスルアドベンチャーは、台風15号による被害のため、平成元年9月9日から営業休止
- ・ファミリーサーキット、サイクルUFO、サイクルモノレール、水上自転車、室内フットサル場、ウエイトトレーニング場  
バッテリーカー、ウォーターバルーン、ふわふわドームは、台風19号並びにオリンピック・パラリンピック競技会場整備のため、令和元年10月15日から営業中止



(別表2) 自転車競技大会一覧

開催月	主な大会	主催団体	参加選手	
協 力	4月	全日本学生トラックレースシリーズ第1戦	日本学生自転車競技連盟	167人
	4月	第44回チャレンジサイクルロードレース大会	日本自転車競技連盟	761人
	4月	東京都高等学校総合体育自転車競技ロードレース大会	東京都高等学校体育連盟自転車競技専門部	75人
	4月	2019東京都クラブ対抗ロードレース 兼 2019東京都ジュニア強化大会	東京都自転車競技連盟	35人
	4月	神奈川県高等学校総合体育大会自転車競技ロードレース大会	神奈川県高等学校体育連盟自転車競技専門部	34人
	5月	全日本学生トラックレースシリーズ第2戦 第21回修善寺カップ女子オープントラック大会	日本学生自転車競技連盟	140人
	5月	全日本学生ロードレースシリーズ第3戦 第21回修善寺カップ女子オープンロードレース大会	日本学生自転車競技連盟	207人
	5月	平成31年度静岡県高等学校総合体育大会 自転車競技(ロード競技)	静岡県高等学校体育連盟自転車競技専門部	47人
	5月	第22回ツアー・オブ・ジャパン 伊豆ステージ	自転車月間推進協議会	84人
	6月	第66回東海高等学校総合体育大会自転車競技大会(トラック競技)	東海高等学校体育連盟	212人
		第66回東海高等学校総合体育大会自転車競技大会(ロード競技)	静岡県高等学校体育連盟	42人
	10月	READY STEADY TOKYO - 自転車競技(マウンテンバイク)	東京2020組織委員会	87人

<主催大会>

該当なし

※前年度実績12大会:1,447人

<協力大会>

12大会:1,891人参加(5キロサーキット、400メートルピスト、MTBコース)

※前年度実績45大会:8,389人

(別表3) 自転車スクール及び競技指導内容一覧

区名	内容	参加人数
小学生のための 自転車教室	自転車に乗れない小学生を対象にした日帰りの教室 3回開催(第110回:4月～第112回:7月)	36人
	立川市が主催する小学生を対象にした日帰りの教室 1回開催(11月:立川競輪場)	20人
	伊豆市が主催する小学生を対象にした日帰りの教室 1回開催(12月:日本競輪選手養成所JKA250)	23人
女性のための 自転車教室	自転車に乗れない女性を対象にした1泊2日の教室 3回開催(第317回:4月～第319回:6月)	22人
自転車競技者に対する 指導業務	静岡県自転車競技連盟強化事業への協力 ・ジュニア育成・強化事業における指導 1回開催(12月) 選手 16名、指導者 2名 ・国体強化事業における指導 2回開催(8月・9月) 選手 15名、指導者 4名 ・女子ジュニアアスリートキャンプにおける指導 1回開催(12月) 選手 16名、指導者 1名	54人
	山梨県自転車競技連盟事業への協力 ・公認コーチ(自転車競技)養成講習会における指導 1回開催(12月) 受講者 8名	8人

(別表4) イベント開催内容一覧

	イベント名	開催日	主な内容		
自転車普及イベント	ゴールデンウィーク サイクルカーニバル	平成31年4月27日(土) ～ 令和元年5月6日(月)	ふあふあランド(2種類2基)	1日	257人
			サーカスワールド、ハッピーウエスタンランド	1日	116人
			スタンプラリー「チャリオ」	10日	1,259人
			キャラクターショー(2種類)	2日	2,952人
	一輪車競技大会 ～共催～	令和元年6月23日(日)	第16回CSC3時間耐久一輪車レース大会 (チーム対抗)	1日	189人
	夏のサイクルカーニバル	令和元年7月20日(土) ～ 同 9月30日(月)	子ども縁日(4屋台)	123日	1,401人
			スタンプラリー「隠れ恐竜を探せ」	58日	2,300人
			流しそうめん振る舞い	3日	158人

(別表5) 自転車競技体験プログラム一覧

開催日	主な内容
平成31年4月1日(月)	<p>みしまジュニアスポーツアカデミーへの協力(全7回) 1日 14人</p> <p>第4期生 19人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊豆ペロドロームでのトラック競技体験プログラム(6回)</li> <li>・日本競輪学校測定室でのWattbike測定(1回)</li> </ul> <p>※平成31年3月2日(土)から全7回実施</p>
令和元年5月8日(水) ～令和元年10月16日(水)	<p>伊豆市機運醸成事業「ランニングバイク出前教室」 7日 175人</p> <p>伊豆市内各こども園及び保育園</p>
令和元年9月10日(火) ～令和元年10月15日(火)	<p>静岡県立伊豆総合高等学校体育科目選択授業 5日 54人</p> <p>選択希望者:2年生 11人(実習回数 5回)</p> <p>(北400mピストでのトラック競技実習)</p>

(別表6) 広報宣伝活動内容一覧

媒体名		内 容			
広 告	テレビ	静岡朝日テレビ	15秒スポット		18本
	新聞	伊豆日日新聞		1紙	3回
	車内吊	新東海バス	4枚/車両・1期7日	35車両	26期
	看板	伊豆箱根鉄道・駿豆線(修善寺駅構内看板)		1基	12ヵ月
		伊東マリンタウン(観光案内看板)		1基	12ヵ月
		伊豆ぐらんぱる公園旅の駅(観光案内看板)		1基	12ヵ月
	インターネット	いこーよ(子供とおでかけ情報サイト)			2回
		LINE@(イベント情報配信サイト)			12ヵ月
その他	伊豆新聞(ダブロイド)			1件 1回	
	大会協賛広告(サイクルフェスティバル伊豆2019 ほか)			2回	
パ ブ リ シ テ イ	テレビ	静岡朝日テレビ、SBSテレビ、テレビ静岡、NHK静岡、NHK総合		5局	12回
	新聞	静岡新聞、伊豆日日新聞、中日新聞、東京新聞		4紙	19回
	ラジオ	FM IS		1局	3回
	新聞	静岡新聞、伊豆日日新聞		2紙	8回
	雑誌	Digる、いいね伊豆旅、Hello Travel伊豆ほか		4誌	5回
	インターネット	Dokka! おでかけ探検隊、静岡新聞社@Sアットエスほか		6件	7回

## (別表7) 販売促進活動内容一覧

(単位:人)

区 分	営業予約実績		来 場 実 績			
	件 数	人 数	法人等契約先	サイテル宿泊		
				スポーツ合宿	営業外	計
4 月	5件	495	0	297	909	1,206
5 月	5件	646	0	194	442	636
6 月	5件	916	0	132	875	1,007
7 月	2件	210	0	1,172	392	1,564
8 月	—	—	—	1,044	1,022	2,066
9 月	—	—	—	84	515	599
10 月	—	—	—	0	331	331
11 月	—	—	—	514	352	866
12 月	—	—	—	—	—	0
1 月	—	—	—	—	—	0
2 月	—	—	—	—	—	0
3 月	—	—	—	0	12	12
合 計	17件	2,267	0	3,437	4,850	8,287
前年度	54件	8,436	7,221	4,253	6,410	10,663
増 減	△37件	△6,169	△7,221	△816	△1,560	△2,376

(別表8) 諸会議開催内容一覧

会議名	開催内容
理事会	<b>第26回理事会（令和元年6月6日開催、東京）</b> （議案第1号）平成30年度事業報告について （議案第2号）平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び同附属明細書並びに財産目録について （議案第3号）平成30年度公益目的支出計画実施報告について （議案第4号）第19回評議員会の招集について （報告事項1）平成31(2019)年度有料入場者の推移について （職務執行報告） 東京オリンピック・パラリンピック競技会場整備に関わる関係機関との折衝状況について 今期のGWの入場者の状況について 東京オリンピック・パラリンピック競技会場整備に伴う営業体制について
	<b>第27回理事会（令和2年3月19日開催、決議の省略の方法による）</b> （議案第1号）令和2年度事業計画について （議案第2号）令和2年度収支予算について
評議員会	<b>第19回評議員会（令和元年6月28日開催、東京）</b> （議案第1号）平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び同附属明細書並びに財産目録について （報告事項1）平成30年度事業報告について （報告事項2）平成30年度公益目的支出計画実施報告について （報告事項3）平成31(2019)年度有料入場者の推移について
	<b>第20回評議員会（令和2年3月30日開催、報告の省略の方法による）</b> （報告事項1）令和2年度事業計画について （報告事項2）令和2年度収支予算について
常勤役員会	<b>第1回常勤役員会（令和元年5月24日）</b> （議案第1号）平成30年度事業報告について （議案第2号）平成30年度決算報告について （議案第3号）平成31(2019)年度収支予算の補正について
	<b>第2回常勤役員会（令和元年8月19日）</b> （議案第1号）2020年度JKA補助要望について
	<b>第3回常勤役員会（令和元年9月10日）</b> （議案第1号）2020年度JKA補助要望について
	<b>第4回常勤役員会（令和2年2月10日）</b> （議案第1号）令和2年度事業計画並びに収支予算の骨子(案)について
	<b>第5回常勤役員会（令和2年3月2日）</b> （議案第1号）令和2年度事業計画(案)について （議案第2号）令和2年度収支予算(案)について （議案第3号）令和2年度営業計画(案)について （議案第4号）令和2年度勤務計画(案)について
その他	役職員懇談会（7回開催：平成31年4月～令和2年1月）
	管理職会議（7回開催：平成31年4月～令和2年3月）
	営業施設の安全対策委員会（6回開催：平成31年4月～令和元年9月）
	防火管理委員会（3回開催：令和元年7月、令和2年1月、3月）
	労務運営委員会（5回開催：令和元年5月、6月、9月、12月、令和2年3月）
	公益財団法人JKA伊豆事業所との定例連絡会（11回開催：平成31年4月～令和2年3月）

(別表9) 職員研修内容一覧

	研 修 名	回 数	参 加 者
資 質 向 上 研 修	施設リニューアル関連施設視察 ・1班(7月:千葉県、栃木県) ・2班(7月:長野県、山梨県) ・3班(8月:神奈川県)	1回 1回 1回	職員(5名) 職員(4名) 職員(5名)
	伊豆市交流協会主催講座 ・中国語教室(9月~2月) ・英会話教室(9月~3月)	15回 25回	職員(5名) 職員(14名)
	「レジャー&サービス産業展2019」視察(10月)	1回	普及事業課長(1名)
	一般財団法人自転車センター主催 「伊勢志摩サイクルトレインツアー」(10月)	1回	普及事業課担当者(2名)
	「レジャージャパン2019」視察(12月)	1回	常務理事、普及事業課長(計2名)
	取 資 格	甲種防火管理者(2月)	1回
一 般 研 修 会 ・ 講 習 会	令和元年度競技別NTCマネジメントミーティング(5月)	1回	競技振興課長(1名)
	安全運転管理者法定講習会(8月)	1回	総務部長(1名)
	日本トレーニング指導者協会「VBT完全習得セミナー」(11月)	1回	競技振興課長(1名)
	VBT及びHIITに関するセミナー(1月)	1回	競技振興課長(1名)
	令和元年度競技別NTC合同ミーティング(2月)	1回	競技振興課長、競技振興係担当者(計2名)
講 師 派 遣	みしまジュニアスポーツアカデミー(4月)	8回	競技振興課長、競技振興係担当者(計3名)
	静岡県自転車競技連盟「国体強化合宿」(8・9月)	2回	競技振興課長、競技振興係担当者(計2名)
	静岡県立伊豆総合高等学校「体育科目選択授業」(9・10月)	5回	競技振興課長、競技振興係担当者(計3名)
	社会福祉法人春風会職員研修(11月)	1回	競技振興課長(1名)
	静岡県自転車競技連盟「ジュニア育成強化合宿」(12月)	1回	競技振興課長、競技振興係担当者(計2名)
	令和元年度公認コーチ1(自転車競技)養成講習会(12月)	1回	競技振興課長(1名)
	静岡県自転車競技連盟 「女子ジュニアスリートトレーニングキャンプ」(12月)	1回	競技振興課長、競技振興係担当者(計2名)
	日本競輪選手養成所講義(1月)	1回	競技振興部長(1名)
訓 各 種	地震・消防総合訓練(7月、2月、3月)	3回	職員・保守管理者(7月28名、2月30名、3月28名)